

■ 渋滞緩和に向けたお願い

お客さまのちょっとした心がけで、渋滞を緩和し快適なドライブにつながりますので、次のような運転をお願いします。

○上り坂でも同じ速度で走りましょう

- ・ 速度低下にご注意ください。 速度回復の表示を見たら、速度回復にご協力を！



○車間距離をとりましょう

- ・ 走行中は、余計なブレーキを踏まないように十分な車間距離の確保をお願いします。



○車線変更を控えましょう

- ・ 渋滞中における必要以上の車線変更は、更なる渋滞の悪化を招きます。
※渋滞は、追越車線から発生します。



■ 混雑対策の取り組み

当支社では、本渋滞予測及び過去の渋滞状況を踏まえて、トンネル入口部での速度低下注意喚起、渋滞末尾への追突注意喚起、休憩施設での駐車場整理員の配置、特設トイレの設置、大型車駐車マスの確保などの混雑対策をおこなう予定です。

項目	主な対策	
本線部	① トンネル入口部での速度低下注意喚起対策	3箇所
	② 渋滞末尾への追突注意喚起対策	渋滞発生時
SA・PA	③ 休憩施設での駐車場整理員の配置	17箇所
	④ 特設トイレの設置	4箇所
	⑤ 大型駐車マスの確保	17箇所

※2016年7月時点の計画であり、今後の関係機関との協議調整等により、変更となる場合がありますことを、予めご了承ください。

【トンネル入口部での速度低下注意喚起】



【休憩施設での駐車場整理員の配置】



【渋滞末尾への追突注意喚起】



【特設トイレの設置】



■渋滞(予測)情報の提供

出発前やご旅行中に、是非ご利用いただき快適なドライブ計画にお役立てください。

(1) 渋滞予測情報

- ① インターネット [<http://www.c-nexco.co.jp/>] のNEXCO 中日本公式 WEB サイトで検索できます。
- ② リーフレット（渋滞予測ガイド）
高速道路の各 SA のエリア・コンシェルジュや料金所事務室などでお配りしています。

(2) 現在の道路交通情報

- ① 日本道路交通情報センターの道路交通情報
インターネット [<http://www.jartic.or.jp/>] や電話〔携帯#8011 など〕をご利用ください。
- ② i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）
アイハイウェイでは通行止が発生または解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。
なお、自動車運転中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際は SA・PA にてお願いいたします。



[<http://c-ihighway.jp/>]



③ ハイウェイテレホン（電話番号は下記一覧をご覧ください。）

中部地区情報	名古屋局	052(709)1620
	岐阜局	058(259)1620
近畿地区情報	京都局	075(602)1620
北陸地区情報	敦賀局	0770(21)1620
	福井局	0776(57)1620
	金沢局	076(253)1620
	富山局	076(476)1620
	上越局	025(535)1620

携帯電話から「#8162〔はーい、無事（帰る）〕」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

※音声によるハイウェイテレホンと合わせ携帯電話のWEBサイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

・東海及び北陸地域の高速道路情報

[<http://highway-telephone.com/>]



■ 安全走行のお願い

高速道路を安全で快適にご利用していただくために、お客さまに次のことをお願いしています。

○万一、事故や故障が起こった場合、安全な場所にすみやかに避難を

高速道路上で人がはねられる事故が増加しています。

交通事故や故障により停止した場合、道路上にとどまることは非常に危険です。

ハザードランプや三角停止表示板、発炎筒などで後続車に危険を知らせたら、通行車両に十分注意し、すみやかにガードレールの外など安全な場所に避難してください。

また、非常電話などからの通報もお願いします。

○後部座席もシートベルトを着用

シートベルトは命綱、衝突時の身体への衝撃を和らげてくれます。

運転席・助手席だけでなく、後部座席においてもシートベルトの着用が義務化されています。

○走行中の故障トラブルを防ぐため、走行前に車の点検を

高速道路上での故障トラブルは、事故や渋滞の原因となります。故障トラブルの大半が、走行前の基本的な車両点検で防げるものです。燃料切れ、エア不足によるタイヤのパンクが増加しています。燃料、タイヤ（空気圧）、オイル、冷却水等の点検を忘れずをお願いします。

※舞鶴若狭道の敦賀ジャンクションから西紀サービスエリアまで約140kmは、給油所がございませんのでご注意ください。

※東海北陸道では2016年7月15日よりETCを搭載する全車両を対象に、福光インターチェンジを一旦降りて、指定のガソリンスタンドで給油ができる社会実験をおこないます。

詳しくは、NEXCO 中日本公式WEBサイトをご覧ください。

○渋滞末尾での追突事故に注意

渋滞発生時には、渋滞の車列の中や渋滞の末尾での追突事故が発生しやすくなります。

安全速度の順守と適正な車間距離を確保し、渋滞に遭ったらハザードランプで後続車に合図するなど、追突事故の防止に心掛けてください。

○早めの休憩を取って安全運転を。逆走事故にも注意

夜間運転や長時間運転は思った以上に疲れます。サービスエリアなどでこまめに休憩をとり、安全運転を心掛けてください。

また、サービスエリアなどから高速道路本線に戻る際に進行方向を間違え、逆走事故に至るケースが発生していますので、方向標識や路面標示を確認してから走行しましょう。

なお、昨年、北陸自動車道では自動二輪車が関係する死亡事故が春先に集中しました。疲れを感じた場合は無理せず、早めの休憩をとり安全運転をお願いします。

○ETCカードは確実に挿入。ETCレーンは、十分に速度を落として

ETCカードの挿し忘れや不完全な挿入の状態でのご利用は、開閉バーの未作動の原因となり、非常に危険です。確実に車載器へETCカードを挿入したことを確認してご利用ください。

また、ETCカードにはクレジットカードと同様に有効期限があります。有効期限切れのETCカードでは開閉バーが開きませんのでご注意ください。

ETCレーンには、前の車と十分な車間距離をとった上で、時速20km以下に減速して進入し、ETCレーン内は徐行の上、安全に停止することができるような速度で、開閉バーが開いたことを確認してご通行ください。

なお、スマートICはETC専用の出入口ですが、通常のICのETCレーンと異なり、ノンストップでの通行はできません。開閉バーの前では十分減速いただき、一旦停止をお願いします。

○緊急地震速報が発令されたら

緊急地震速報が発令されてから、強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒の時間があります。

高速道路上やサービスエリアなどで緊急地震速報を受信したときは、身を守るために以下のような行動をお願いします。

- 自動車運転中にカーラジオ等で受信した場合は…
 - ・あわててスピードを落とさない
 - ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
 - ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
 - ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止
- 休憩施設では…
 - ・落ちついて行動
 - ・あわてて出口に走り出さない

○道路の異状は道路緊急ダイヤル『#9910』で通報を

車両の通行に支障となる道路の穴ぼこや落下物などの緊急事態を発見したら、お近くに非常電話がない場合、道路緊急ダイヤル「#9910」による通報をお願いします。

※道路交通法により運転中の携帯電話の使用は禁止されていますので、サービスエリア等で車を停めてから通報してください。